



4月30日発行

URL: <https://www.y-nakamura.jp/>

TEL 083-922-0418 文責 鶴永幸彦

## 新年度も1か月が過ぎました。

1月2月3月と加速度をつけるように過ぎていった月日が、新年度を迎え4月になると急に速度を緩め、驚くほど長く感じられますが、それもやっと終わりを迎えました。

1年生はもちろん2, 3年生も日々落ち着いて生活しています。若いとはいえ、この1か月間頑張ってきて心身の疲れもかなり溜まっていることと思います。これからゴールデンウィークを迎えることから、休日を有意義に楽しみつつ心身のリフレッシュを図り、疲労回復と連休明けからの再スタートが円滑にいくよう英気を養ってほしいと思います。

家族で過ごす時間も普段以上にあることから、少しでも楽しい家族のひとときが過ごせればと思います。

朝、正門を入ったピロティで、数人の先生方と一緒に生徒にあいさつの声かけをしています。元気な声であいさつを返す生徒や、うなずく生徒などその対応は様々です。高校生は在籍中に成人年齢に達します。また本校卒業生の大半は社会人としてデビューすることを鑑みるに、明るく気持ちの良いあいさつができることは、近い将来の職業人としての社会生活で大いに役立つと思います。将来の職場の様々な人たちに対して、自分の気持ちの状態如何に関わらずあいさつができるようにするため、家庭で、学校で自分から先にあいさつする習慣を身につけておくとういと思います。きっと、自分の人生によい影響をもたらすことでしょう。

目標や夢をもって生活することも大変重要です。今何をすべきか、どのように時間を生かすべきか考えるようになり、日々の生活にメリハリが出てきます。そのことは、内面の充実を促し、自然と態度や行動に表れてきます。ご家庭においても、特に連休中にはともに過ごす時間が増えるでしょうから、ささいなことをきっかけに子どもたちとの会話を図り、思いを感じ取り、前向きな気持ちが高まるよう後押ししてください。よく引用される吉田松陰先生の言葉に「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に夢なき者に、成功なし。」です。要は、成功も幸せも自分の努力の積み重ねですね。

## 「環境が人をつくる。」掃除に力を入れていきます。

「人が環境をつくり、環境が人をつくる。」という言葉があります。様々な捉え方があると思いますが、美しい環境は、美しい心を育て、美しい行いに通じると思います。

そういった意味で、掃除は人のためと言うより自分のためであり、自分が学ぶ校舎をきれいにするという感謝の行為を通して、まさに自分の心や行いそのものを美しくしていると思います。

社会人となり、様々な職場で仕事をするようになったとき、学校での掃除、言い換えれば校舎磨きが習慣になっていけば、きっと職場でも環境をきれいにすることに心がけるでしょうし、職場の人から感心され、尊敬され、幸せにつながります。

### 本気の掃除の功德

- 1 心が磨かれる
- 2 謙虚な人になれる
- 3 気づく人になれる
- 4 感動の心が育まれる
- 5 感謝の心が芽生える

幸せな人生につながる

裏面に続く

## 薫風香る5月 主な行事

5月に入りゴールデンウィークが明けると、大学生や社会人を中心に、何事にも無気力になってしまう五月病とも言われる症状が出る場合があります。高校生についても、似た症状が出る場合があります、普段の様子をしっかりと見守ってください。

日	曜	内 容
1	水	尿検査
2	木	尿検査
7	火	1年X線検査
9	木	中間考査時間割発表 1年心電図検査
11	土	公開授業（1時限9:20） 親師会地区委員会・総会 学級懇談会、いじめ対策委員会
13	月	振替休日
15	水	W2 中間考査①

日	曜	内 容
16	木	中間考査①、W2 中間考査②
17	金	中間考査②、W2 中間考査③
20	月	中間考査③、 進学希望生徒一斉指導3年
21	火	中間考査④
24	金	壮行式
27	月	計算力テスト週間
30	木	歯科検診
31	金	英検1次

## 調理科2年生戴帽式



4月19日（金）サテライト教室で、調理科2年生の戴帽式を行いました。晴れの式を前に、気持ちが高ぶった生徒たちは賑やかな様子でしたが、式が始まると一転態度も姿勢も引き締まり、凛々しい表情で校長から、コック帽を受け取りました。今後は、より専門的な知識や高度な技術を学びつつ、調理師の資格取得をめざします。また、集団給食実習や地域に出向いての調理体験も始まります。

生徒代表として、佐藤優羽さんが、目配り、気配り、心配りを大事に、誰からも喜んでもらえるおいしい料理が出来る、立派な調理師をめざして努力していきますと誓いの言葉を述べました。

## いい本は人生を豊かにしてくれる

甘いお菓子は口においしく、心もほっこりさせせてくれます。たくさんは食べてはだめと思いながら、ついつい手が出てしまいますね。ご褒美として一人で食べるのもよし、皆とお茶を飲みながら、わいわいガヤガヤ話しながら食べればまた楽しさも倍増します。

『和菓子のアン』 坂本 司 著 光文社



和菓子にまつわるお話です。主人公は、高校卒業してデパート地下の和菓子店にアルバイトとして勤め始めた女性です。特に取り柄があるわけ無く、普通の女性ですが、お菓子が好きでふくよかなのが特徴です。お店の職員やお客さんとのやりとりがほのぼのしていて、心がまあるくなる感じです。人に対して優しくなれるお話です。